

令和7年度とちぎ地域資源活用・価値創出実践セミナー 基礎編第2回「ブランディングとデザイン」実施状況について

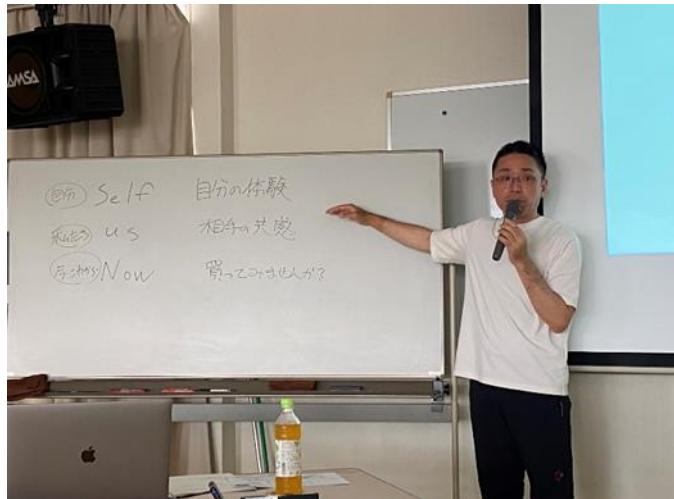
【日 程】令和7（2025）年10月7日（火）
【会 場】とちぎアグリプラザ多目的研修室（サテライト会場：安蘇庁舎）
【講 師】とちぎ地域プランナー
（株）文化メディアワークス
代表取締役 アートディレクター 佐藤正和 氏
【受講者】14名

【内 容】

講師から、売れる商品とは何か、ブランディング手法、ネーミングの重要性などについて、多くの事例とともに説明があった。

売れる商品は顧客の共感を得ることが大切であり、ブランディングはプロダクトアウトとマーケットインとの二つの視点で、他商品との違いを作っていくこと。

商品へのこだわりをどう表現するかを考えつつ、顧客が「欲しくなる商品」の世界觀を作ること。そして、商品の価値・強みを顧客の心に訴えるのがネーミングやロゴマークでありパッケージ。パッケージデザインよりも、ネーミングを先に考え、ネーミングを補うのがパッケージ全体の色や形。一目で理解できるデザインがよい



参考パッケージの解説

【受講者の声】

- ・ロゴやネーミングの考え方がすごく参考になった。
- ・デザインなどを考える時に自分の体験などを入れつつ買う人が興味や共感が少しでも入っているといいのだと学んだ。
- ・デザインが目を引くものばかりで、デザインの勉強がしてみたくなった。
- ・プロダクトアウト・マーケットインについては日々考えていた。自分が出せる物もまだ定まっていないが、ターゲットが求める物をもっと考えて、自分が出す物を考えていきたい。自分が考えていることとの答え合わせができ、とても勉強になった。